

願いが叶った!

2位通過決定

大逆転で決勝リーグ進出



決勝リーグは小柳が打つ〜

一度は諦めかけた決勝リーグ進出だったが、一縷の望みを託した1位MORRと2位VONDSとの試合はMORRが8・0で勝利した。その結果、大和電機とVONDSは9勝4敗で並んだが、直接対決で2勝している大和電機が2位となり、決勝リーグ進出が決定した。チームが今年の目標に掲げた「日本リーグ初代チャンピオン」に向けて何とか決勝リーグへのスタートラインに立てる事になった。夢を実現する事が出来るかどうかはこれまで行ってきた練習の成果を最高の舞台上で発揮するだけだ。

決勝リーグ展望

決勝リーグは11月4日、5日は両リーグの1日、2日は両リーグの2日と2位がリーグ戦形式で試合を行う。11月6日はリーグ戦の結果、1位と2位が決勝を3位と4位が3位決定戦を行う事になる。大和電機は初日プラチナ1位のMORRと戦う。リーグ戦では1勝1敗と言う戦績。2節千葉大会では5・0で打つて勝つ事が出来たが、4節三重大会では0・1で敗戦し、僅か2安打に抑え込まれた。しかしこちらでもエース大串が相手打

線を1安打に抑え込んでおり、相手にとっては大串の存在は脅威だろう。MORRも右の中野、左の竹原は素晴らしい投手でそう簡単には打ち崩すことは出来ないだろう。投手戦になる事は必至だ。少ないチャンスをかき取り、モノに出来るかが勝敗の行方を左右する。2日目はダブルヘッターとなり、1試合目はサファイア1位の静甲と戦う。静甲とは今年何試合も練習試合をしてきているが、静甲の絶対的エース山本を攻略出来ていない。また、静甲はこれまで打線の中軸がしっかりとしており、軸が抜けない。しかし、静甲打線は4節で3試合で4点と低調気味で苦戦を強いられており、これまでのデータを使えば勝機は見えてくる。カギはエース山本をどう攻略していくかだろう。2試合目はサファイア2位のシトリンとの一戦。シトリンとは9月に練習試合を行ったばかりだが、その時は2勝している相手だ。ただ、シーズン終盤に差し掛かって日本リーグ全体で今一番チーム状態は良いと見ている。早い回に点を取って優位な状態に持ち込まないと勢いのある相手は強い。さて本誌が予測する決勝リーグのヒロインは小柳結だ。